

みずほCustomer Desk Report 2016/12/15 号(As of 2016/12/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.22	1.0627	122.47	1.0119	1.2662	0.7493
SYD-NY High	117.40	1.0670	123.41	1.0224	1.2728	0.7525
SYD-NY Low	114.77	1.0497	122.15	1.0085	1.2530	0.7395
NY 5:00 PM	117.05	1.0533	123.27	1.0205	1.2565	0.7406
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.07/11.845	Δ 25RR	1.068	Yen Call Over
NY DOW	19,792.53	▲ 118.68	債券市場	日本2年債	-0.1890	▲ 1.3bp
NASDAQ	5,436.67	▲ 27.16		日本10年債	0.0590	▲ 2.7bp
S&P	2,253.28	▲ 18.44		米国2年債	1.2673	10.4bp
日経平均	19,253.61	3.09		米国5年債	2.0479	13.9bp
TOPIX	1,538.69	▲ 1.56		米国10年債	2.5707	9.9bp
シカゴ日経先物	19,410	70.00		独10年債	0.3010	▲ 5.9bp
ロンドンFT	6,949.19	▲ 19.38		英10年債	1.3860	▲ 5.5bp
DAX	11,244.84	▲ 39.81		豪10年債	2.7900	▲ 3.0bp
ハンセン指数	22,456.62	9.92	為替市況	USD/CNH	6.9270	0.0062
上海総合	3,140.53	▲ 14.51		ドルインデックス	102.09	1.02
USDJPY 3M Vol	11.55	▲ 0.07%	商品市況	CRB指数	191.786	▲ 1.67
USDJPY 6M Vol	11.83	▲ 0.03%		NY金	1,163.70	4.70
EURJPY 3M Vol	11.11	0.04%		WTI	51.04	▲ 1.94
EURJPY 6M Vol	13.29	0.06%		Dubai Spot	52.35	▲ 0.70

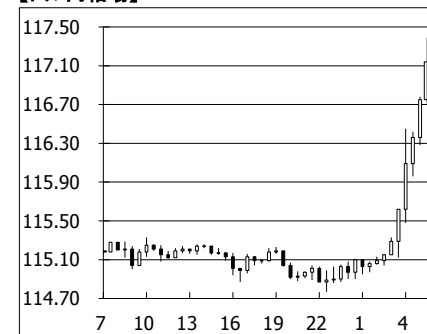
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月14日	08:50	日銀短観・大企業製造業/予想	4Q	10/8
	08:50	日銀短観・大企業非製造業/予想	4Q	19/16
	18:30	ILO失業率(3か月)	10月	4.8%
	22:30	小売売上高(前月比)	11月	0.1%
	22:30	PPI(前月比/前年比)	11月	0.4%/1.3%
	22:30	PPIコア(前月比/前年比)	11月	0.4%/1.6%
12月15日	04:00	FOMC政策金利公表(12/13-14)	12月	0.50-0.75%
	04:30	イエレンFRB議長記者会見	12月	0.50-0.75%

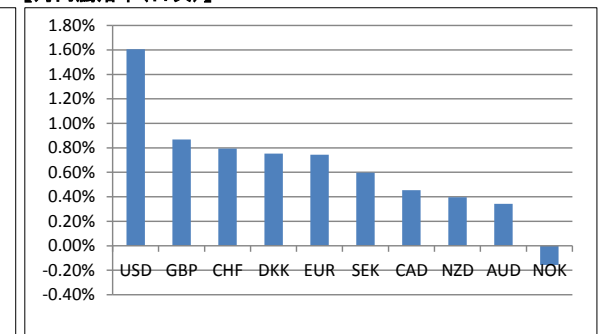
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月15日	08:50	対外・対内証券投資	-	-
	09:30	雇用者数変化/失業率	11月	17.5k/5.6%
	18:30	小売売上高(前月比/前年比)	11月	0.0%/5.9%
	21:00	BOE政策金利公表	12月	0.25%
	22:30	NY連銀製造業景気指数	12月	4.0
	22:30	CPI(前月比/前年比)	11月	0.2%/1.7%
	22:30	コアCPI(前月比/前年比)	11月	0.2%/2.2%
	22:30	新規失業保険申請件数	-	255k
	22:30	フィラデルフィア連銀景況感指数	12月	9.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	116.50-118.50	1.0475-1.0625	122.50-124.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場はFOMCを受けて急騰する展開。注目されたFOMCでは、市場予想通り25bpの利上げが全会一致で決定された。同時に発表発表された参加者17人による来年の政策金利見通しは、前回9月時点の2回の利上げから3回に引き上げられた。これを受けて米国金利の上昇も手伝い、ドル円相場115円台から117円台まで急騰した。年内最後のイベントを消化したことで、年末に向けてポジション調整の動きが出ることも想定されるが、軽い調整もなく一段の高値を試すことも相応に考えられる中、引き続きドル円ロングが基本戦略になると考える。

東京	朝方に発表された日銀短観の内容はまちまちの結果となり市場の反応は限定的。東京時間のドル円は115.22レベルでオープン。米FOMCの政策発表を前に様子見ムードが漂う中、日経平均株価が軟化するドル円も連れる形で一時115.00まで下落。115円ちょうど付近では押し目買いの動きも散見される中、実需のドル買い円売りにもサポートされ、一時115.33まで値を戻す。午後にかけては、材料難の中、方向感乏しくレンジ推移となり結局115.17レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は115.17レベルでオープン。FOMCを控えポジション調整的にドル売り円買いが優勢となり、115.02レベルでNYに渡った。ロンドンでは12665レベルでオープン。8-10月の雇用関係連続統計で就業者数が過去約1年で初めて減少したことが嫌気され12637まで売られるも、米FOMCの政策発表を控え積極的なポジション形成は手控えられたことから、結局オープンレベルと同水準まで戻し12668レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	米FOMCの声明文公表をNY時間午後2時に控え、ポジション調整が進む中、ドル円は115円ちょうど付近でのレンジ推移となり、115.02レベルでNYオープン。朝方発表された米11月小売売上高速報(前月比)は事前予想を下回り、前回値が下方修正されるドル円は114.77まで下落。しかし、米11月PPI最終需要(前月比)が予想を上回ったこともあり、この水準では下げ止まった。その後ドル円はFRBメンバーからの効率的発言に対する期待を背景にじり高の推移に115.40付近まで上昇。発表された政策金利は予想通り25bpの利上げとなったが、ドットチャートの2017年度利上げ見通しが9月会合の2回から3回(政策メンバー17人中11人が3回以上を予想)に上方修正されたことがサプライズとなり、米金利と共にドル円は急伸。声明文でも景気判断と物価動向について上方修正されるなど全体的に効率的な内容であったことから、米2年債利回りも2009年以来的水準まで上昇、ドル円も今年2月以来となる117.37まで上値を伸ばし、結局117.05レベルでクローズした。一方ユーロドルは1.0642レベルでNYオープン。イベント前のポジション調整により1.0670まで上値を上げるが、FOMCの政策発表を受けドル全面高となると、ユーロドルは安値となる1.0497まで急落。2015年3月以来となる1.05台割れ水準ではユーロ買い意欲も強く、結局1.0533レベルまで値を戻しクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。